

日本蜘蛛学会第 46 回大会

会期：2014 年 8 月 23 日（土）・24 日（日）

会場：名古屋市立大学医学研究科医学部研究棟（桜山キャンパス）
（〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄 1）

日 程

8 月 23 日（土）

受付	9:00～
開会	9:50
一般講演（口頭発表）	10:00～12:00
昼食	12:00～13:00
一般講演（口頭発表）	13:00～14:00
写真撮影	14:00～14:05
ポスター発表	14:10～14:50
シンポジウム	15:00～17:00
奨励賞受賞講演	17:05～17:40
総会	17:40～18:30
懇親会	18:40～20:40

8 月 24 日（日）

受付	9:00～
一般講演（口頭発表）	9:30～12:00
閉会	12:10

●役員会 8 月 22 日（金） 名古屋市立大学医学部研究棟 11 階「講義室 B」

編集委員会	13:30～14:30
評議員会	14:40～16:20
自然保護委員会	16:30～17:30

大会案内

●受付

- ・受付は会場付近（医学部研究棟 11 階エレベータ先）に設置します。
- ・当日参加も可能です（大会参加費一般 3,000 円，学生 2,000 円，懇親会費一般 4,000 円，学生 3,000 円）。
- ・受付で名札をお渡しします。懇親会に出席される方の名札にはマークをつけますのでご確認ください。
なお、お帰りの際には名札入れを必ず受付にお返し下さい。

●一般講演（口頭発表）

- ・講演時間は発表 12 分，質疑応答 3 分の計 15 分です。10 分で 1 鈴，12 分で 2 鈴，15 分で 3 鈴を鳴らします。
- ・PowerPoint のファイルを USB フラッシュメモリ（または CD-R，DVD-R）に入れてお持ちいただき，会場内の映写用パソコン（OS: Windows 7，PowerPoint 2010）のデスクトップにファイルをコピーして，文字化け等がないか事前にチェックしてください。
- ・発表時の PowerPoint 映写は発表者ご自身で操作してください。
- ・講演の座長は、事務局であらかじめ設定しました。

●ポスター発表

- ・ポスターボードの大きさは、**縦 170 cm, 横 85 cm**です。ポスターは1日目の昼までに設置してください。
- ・1日目の午後のセッション時にはポスター前で説明をお願いします。奇数・偶数番号毎に20分交代です。
- ・ポスター発表をされる方は、受付後ただちにポスターをご掲示ください。**押しピン等**は事務局で用意します。
- ・ポスターは24日昼の大会終了時（早めに帰られる方は、お帰り時）までご掲示ください。

●シンポジウム

- ・講演時間は発表20分、質疑応答5分の計25分です。開始から15分で1回、20分で2回、25分で3回ベルを鳴らします。また、企画者の趣旨説明5分および総合討論15分（コメントを含む）とします。

●懇親会

- ・懇親会は8月23日（土）18時40分から大学生協にて行います。総会終了時にご案内いたします。
- ・**酒類などの持ち込み（寄贈）を歓迎します。**是非、ご当地の逸品をお寄せください。

●昼食

- ・8月23日（土）の昼食は弁当（要予約）を用意します。弁当を希望／キャンセルされる方は遅くとも16日（土）までにお申し出ください。**24日（日）の昼食は用意しません。**

●禁煙

- ・**キャンパス内および周辺道路は全面禁煙**です。

●文献

- ・大学の規定により、学内での物品販売はできません。見本や無料の資料を置く程度は構いませんが、非公式な物品紹介や個人レベルでの売買とし、事務局は関与しません。詳細は、大会事務局にお問い合わせください。

●宿泊

- ・宿泊の斡旋は行いません。各自でご予約をお願いします。ホテルは久屋大通駅付近などに多数あります。

●駐車場

- ・**駐車場はありません。**公共交通機関でお越しください。

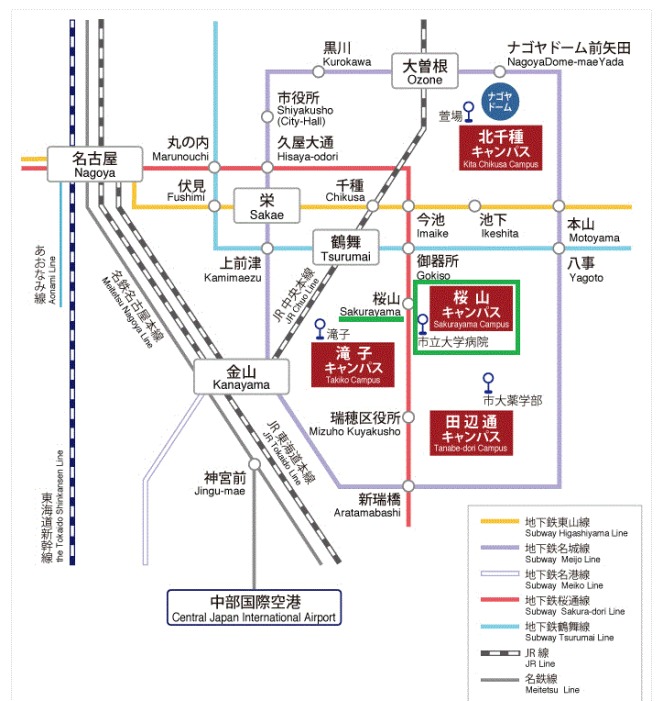
●名古屋市立大学桜山キャンパスへの交通

- ・詳細は、学会大会のサイト (<http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/~nory/arach46/>) をご覧ください。

- ・名古屋駅（※）から、地下鉄桜通線（徳重行き）で約16分「桜山」下車、3番出口すぐ。

※ 名古屋駅新幹線改札口を出てすぐに、桜通線への階段があり便利です。

- ・地下鉄「桜山」3番出口から会場の「**医学部研究棟**」へは、下図の青線の経路（キャンパス外壁を周回し、正門から正面）が分かりやすいです。赤線の経路（キャンパス内）の場合は短距離ですが、建物の間の狭い通路を通ります。



◆ 8月23日(土)

9:00 受付開始・開場

9:50 開 会

●一般講演(口頭発表)

座長：吉田 真

10:00 O-1 緒方 清人(中部蜘蛛懇談会)

愛知県での環境別にみるコモリグモ類

10:15 O-2 ○田中 幸一・馬場 友希・楠本 良延(農環研)

水田におけるクモ類の種組成・個体数の地理的傾向：北海道から鹿児島まで数県の調査結果

10:30 O-3 新海 明([東京都八王子市])

ジョロウグモの個体数密度の年変化(40年間の記録)

10:45 O-4 ○Seong-Hun Ye¹・Joo-Pil Kim²(¹Dukwon High School, ²The Arachnological Institute of Korea)

The monthly spider fauna of Mt. Odae-san in Korea

座長：新海 明

11:00 O-5 ○林 守人^{1,2}・Sara Goodacre²(¹宮城教育大学, ²英ノッティンガム大学)

人工群島産クモ群集の気流中における制動性とその進化

11:15 O-6 ○宮澤 光博¹・片山 詔久²(¹農業生物資源研, ²名市大院・システム自然)

分光学的手法を用いた牽引糸の分子構造特性

11:30 O-7 ○矢部 寛延¹・片山 詔久¹・宮澤 光博²(¹名市大院・システム自然, ²農業生物資源研)

赤外分光法によるジョロウグモの横糸の分子構造

11:45 O-8 ○谷川 明男¹・新海 明²・宮下 直¹(¹東大・農・生物多様性, ²日能研)

トリノフンダマシ亜科内に見られる円網, 三角網, なげなわ網間の系統関係の推定

12:00~13:00 昼 食

座長：片山 詔久

13:00 O-9 末永 博(鹿児島県農業開発総合センター)

有機栽培が九州南部の茶園に生息するクモ類の多様性に及ぼす影響

13:15 O-10 千木良 芳範([うるま市])

ツシマトリノフンダマシの生態に関する若干の知見

13:30 O-11 ○入江 照雄¹・緒方 清人² (¹ [熊本市], ² 中部蜘蛛懇談会)

ヒゴユウレイグモの生息環境と分布 (2)

13:45 O-12 小野 展嗣 (国立科博・動物 / 九大院・統合科学)

有毒種を含む日本産クモ類の2グループに関する新知見 (クモ目: イトグモ科, コマチグモ科)

●写真撮影 (会場内の予定)

14:00~14:05

●一般講演 (ポスター発表)

14:10~14:30 奇数番号ポスター

14:30~14:50 偶数番号ポスター

●ポスタータイトル一覧

P-1 ○鶴崎 展巨・横山 瑞歩 (鳥取大・地域)

若狭湾周辺におけるアカサビザトウムシの核型の地異的分化と丹後山地における同心円状の染色体数増加

P-2 ○小野 展嗣¹・谷川 明男²・山崎 健史³・須黒 達巳⁴ (¹科博/九大, ² 東大・農, ³ 首都大, ⁴ [横浜市])

アジアにおけるクモ学の普及

P-3 ○中村 浩之・東 憲児・関山 和秀 (スパイバー株式会社)

人工クモ糸繊維の実用化への挑戦

P-4 ○片山 詔久¹・矢部 寛延¹・笥 昌英¹・鶴見 健太¹・宮澤 光博² (¹ 名市大院・システム自然科学, ² 農業生物資源研)

蜘蛛糸の優れた物性に関わる分子配向は、生物が獲得した紡糸技術から産まれたのか

P-5 Joo-Pil Kim¹・Seong-Hun Ye²・○Hye-Sung Yoo³ (¹The Arachnological Institute of Korea, ²Dukwon High School, ³Balgok High School)

An undescribed species of the genus *Cybaeus* Koch, 1868 (Araneae: Cybaeidae) from Korea

P-6 Joo-Pil Kim¹・○Min-Kyu Sung² (¹The Arachnological Institute of Korea, ²Jung Myeong High School)

An undescribed species of the genus *Tibellus* Simon, 1875 (Araneae: Philodromidae) from Korea

P-7 Joo-Pil Kim・○Jeong-Jun Lee (The Arachnological Institute of Korea)

A consideration on the pest control of two arachnid families, Araneidae and Tetragnathidae, which inhabit in the Ante wetland park

●シンポジウム 「環境とクモ ～クモを通じて生態系を理解する～」

15:00～17:00

15:00 趣旨説明 企画者：馬場 友希 ((独) 農業環境技術研究所)

15:05 S-1 原口 岳 ((独) 森林総合研究所)

森林生態系の遷移とクモの多様性の関係

15:30 S-2 ○馬場 友希・田中 幸一 ((独) 農業環境技術研究所)

水田のクモ ～様々な空間スケールから眺めたクモ群集～

15:55 S-3 吉田 真 (立命館大学名誉教授)

里山のクモ

16:20 S-4 ○綾部 慈子・肘井 直樹 (名古屋大学)

放射能とクモ

16:45 コメント・総合討論 コメンテータ：宮下 直 (東京大学)

●奨励賞授賞式・受賞講演

17:05～17:10 授賞式

受賞者：高須賀 圭三 氏 (神戸大学大学院農学研究科・学振 PD)

17:10～17:40 受賞講演

クモヒメバチ研究と今後の展望

●総会 17:40～18:30

●懇親会 18:40～20:40

◆ 8月24日(日)

9:00 受付開始・開場

●一般講演(口頭発表)

座長: 加村 隆英

9:30 O-13 Joo-Pil Kim・[○]Jun-Ho Chae (The Arachnological Institute of Korea)

Revision of the family Sparassidae Bertkau, 1872 from Korea with discovery of six undescribed species of the genus *Sinopoda* Jäger, 1999

9:45 O-14 [○]Gwang-Rae Noh¹・Mi-Gyeong Jeon¹・Ji-Young Kim¹・Jung-Sun Yoo²・Joo-Pil Kim³・

Byung-Woo Kim³・Yung-Chul Park¹ (¹Kangwon National Univ., ²National Institute of Biological Resources, ³The Arachnological Institute of Korea)

Molecular phylogeny of Korean spiders based on mitochondrial CO1 gene and nuclear 28S gene

10:00 O-15 田中 一裕 (宮城学院女子大・一般教育)

ウヅキコモリグモ越冬幼生におけるグリセロールの蓄積

10:15 O-16 興石 紗葉子 ([東京都八王子市])

コモリグモ科の子守行動と腹部の毛の関係性

10:30 O-17 中田 兼介 (京都女子大)

ギンメッキゴミグモの配偶行動と垂体の脱落について

座長: 谷川 明男

10:45 O-18 奥村 賢一 (長崎県立諫早高等学校附属中学校)

サイゴクヤチグモ外雌器開口部形態の多様性

11:00 O-19 井原 庸 ((一財) 広島県環境保健協会)

ナミハグモ属の隠蔽的な種多様性と生殖器にみられる平行的な変異

11:15 O-20 相知 紀史 (平戸市立平戸中学校)

長崎県平戸市でのワスレナグモの発見及びその生態

11:30 O-21 [○]須黒 達巳¹・八畑 謙介² (¹筑波大院・生命環境(旧所属), ²筑波大・生命環境)

コウライハエトリ *Pseudicius koreanus* (クモ目: ハエトリグモ科) および関連する種についての分類学的再検討

11:45 O-22 [○]鶴崎 展巨¹・深川 博美² (¹鳥取大・地域, ²放送大・院・文化科学)

コモンでない古文書のクモ: 鳥取県岩美町中島家文書でたどる近世の屋内性クモ相

12:00 閉会の辞

12:10 閉会